

大沼 雅也
ONUMA Masaya

■ 専門分野

経営学分野・イノベーションマネジメント

■ 指導可能な研究テーマ

イノベーションに関わる企業等の戦略や組織に関する研究

■ 過去に指導した学生の修士論文題目

【2017年度】

- ・科学的不確実性に起因する組織危機と印象管理
- ・サブシステム技術の存続メカニズム：磁気テープの長期的な存続

社会人専修コース担当及びサバティカル取得により、計5年間、既存修士の担当を中断。

【2024年度】

- ・社会的課題を解決するための商品開発プロセス：外部アクターとの協調的行動とカテゴリーの再定義
- ・スタートアップ支援プログラムを通じたアウトバウンド型オープンイノベーション

【2025年度】

- ・資源展開の視点からみる中小サービス業のDXプロセス：ゑびやと陣屋を事例として
- ・技術系ユーザーとコンテンツ系ユーザーの成長メカニズム：DJIの事例研究

■ 修士論文作成のための必読文献リスト

学生の修学状況、関心とするテーマによって異なりますが、以下の文献の内容は確実に理解しておく必要があります。その他、具体的な研究テーマに関する文献については、指導の中で適宜、提示します。

- ・佐藤郁哉（2021）『はじめての経営学：ビジネス・リサーチ』東洋経済新報社。
- ・一橋大学イノベーション研究センター編（2017）『イノベーション・マネジメント入門』（第2版）日本経済新聞出版社。
- ・近能善範・高井文子（2010）『コアテキスト：イノベーション・マネジメント』新世社。

■ 修士論文作成に向けた履修推奨科目

グローバル・イノベーション・マネジメント特論

組織マネジメント特論

国際経営特論

戦略経営特論

経営史特論

定性研究法特論

■ 博士課程後期での研究指導実績

【過去に指導した学生の博士論文題目（学位取得年月）】

- ・イノベーションとしての専門職化—造血細胞移植コーディネーターの事例—
(2024年3月)
- ・患者イノベーションの病院組織への継続的普及に関する検討
(2025年9月)

(2026年度時点において、博士課程後期院生を2名指導中)

■ その他

イノベーションマネジメントに関心のある学生を求めます。研究手法については、定量と定性のどちらも指導可能ですが、修士の学生については定性研究（事例研究）を中心とします。博士課程後期については、医療・ヘルスケア領域の事例に関心のある学生を歓迎します。